

千住真理子 & 館野泉

Violin

Piano

夢の競演

Program

<ヴァイオリン・ソロ>

J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ
第1番ト短調 BWV1001 (全曲)

<ピアノ・ソロ>

久保 禎：左手の祈り (館野泉に捧ぐ)
梶谷 修：土曜日の森 (館野泉に捧ぐ)
梶谷 修：風に・・・波に・・・鳥に・・・
梶谷 修：赤とんぼ (山田耕筰)

<ヴァイオリン&ピアノ>

フォーレ / 光永浩一郎 編：夢のあとに
マスネ / 光永浩一郎 編：タイスの瞑想曲
久保 禎：「5つの風景画」より
《申木野さのさ》
山川町利永《琉球人踊》による
谷川賢作：「スケッチ・オブ・ジャズ 2」より
ア・ソング・アフター・ダーク
レイジー・スーザンズ・ワルツ
オールド・グランパス・シンプル・ジョーク

*曲目が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



© Kiyotaka Saito(SCOPE)



© 山岸 伸

たくさんのアンコールにお応えし
二人のレジェンドが帰ってきます

2023年

1/29 (日)

14:00開演(13:30開場)

横浜市鶴見区民文化センター

サルビアホール 4階 ホール

全席指定 一般 5,800円 サルビア券* 5,200円

*サルビア券：鶴見区にお住まいの方、18歳以下、65歳以上、障がい者の方を対象とした割引制度
(サルビアホール窓口または電話のみ取扱い) ・サルビア券はおひとり様2枚まで ・ご購入の際は住所や年齢が証明
できるもの(保険証や運転免許証、障害者手帳など)をご持参ください。

チケット発売 2022年9/19(月・祝) 窓口・WEB 10:00～
電話予約 14:00～

主催



鶴見区民文化センター サルビアホール

指定管理者 神奈川共立・ハリマビシステム 共同事業体

ご予約
お問合わせ

045-511-5711

舘野 泉

Izumi Tateno (Piano)

クラシック界のレジェンド、87歳ピアニスト。東京生まれ。1960年東京藝術大学を首席卒業。1964年よりヘルシンキ在住。1981年以降、フィンランド政府の終身芸術家給与を受けて演奏生活に専念する。

領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。これまで北米、南米、オーストラリア、ロシア、ドイツ、フランス、北欧諸国を含むヨーロッパ全域、中国、韓国、フィリピン、インドネシアなどアジア全域、中東でも演奏会を行う。これまでにリリースされたLP/CDは130枚におよぶ。

ピュアで透明な旋律を紡ぎだす、この孤高の鍵盤詩人は、2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。「舘野泉の左手」のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲をこえる。2012年以降は海外公演も再開し、パリやウィーン、ベルリンにおいても委嘱作品を含むプログラムでリサイタルを行い、満場の喝采で讃えられた。

2020年、演奏生活60周年記念リサイタルを全国で開催。もはや「左手」のことわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿もたらす、最大の魅力である。新刊「舘野泉フォトストーリー(求龍堂刊)」。

舘野泉オフィシャル・ホームページ
<https://www.izumi-tateno.com/>



First time at Salvia-hall

千住 真理子

Mariko Senju (Violin)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽奨励賞各賞受賞。1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」<完全版>を再リリース。春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。2021年7月に最新アルバム「螢の光〜ピースフル・メロディ」をリリース。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ
<https://www.marikosenju.com/>

全席指定

一般 5,800円
 サルビア券* 5,200円

チケット取扱

●サルビアホール 電話045-511-5711

チケットは窓口で購入、または電話にてご予約いただけます。ご予約後、1週間以内に窓口にてお支払い(現金のみ)、もしくは、指定銀行口座へのお振込みをお願いします。

●オンラインチケットサービス <http://www.cnplayguide.com/salvia-hall>

お席はお選びいただけません。所定の手数料がかかります。サルビア券のお取り扱いはありません。

サルビアホール
 チケットセンター
 QRコード

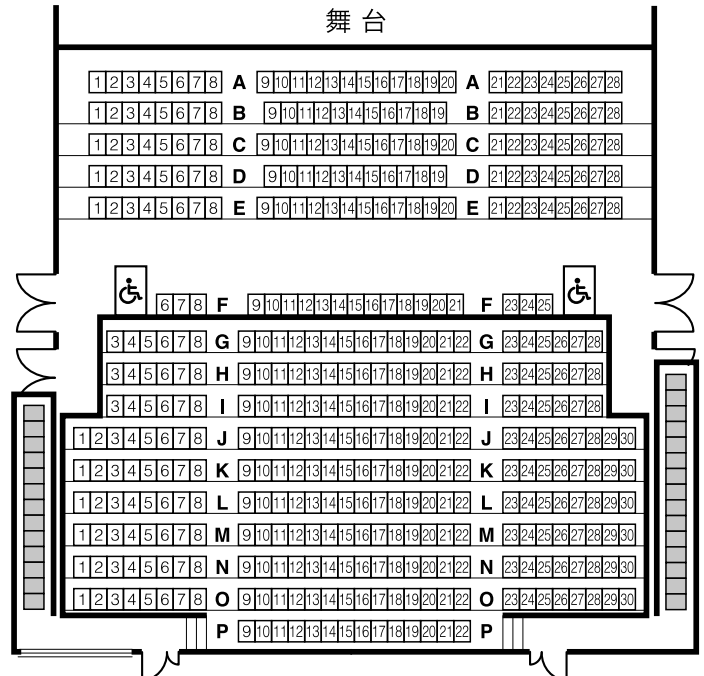


*サルビア券：鶴見区にお住まいの方、18歳以下、65歳以上、障がい者の方を対象とした割引制度(サルビアホール窓口または電話のみ取扱)

・対象者おひとり様につき2枚まで ・ご購入の際は住所や年齢が証明できるもの(保険証や運転免許証、障害者手帳など)をお持ちください。

- 車椅子席をご希望の方は、直接サルビアホールにお問合せください。
- 未就学児の入場はご遠慮ください。

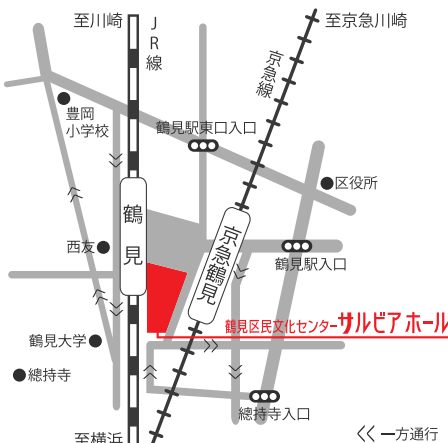
4階ホール 座席表



鶴見区民文化センター サルビアホール

〒230-0051
 横浜市鶴見区鶴見中央1-31-2
 シークレイン内
 TEL 045-511-5711
 FAX 045-511-5712
 E-MAIL info@salvia-hall.jp
 website <https://salvia-hall.jp>
 開館時間 9:00~22:00
 (受付は21:00まで)
 休館日 毎月第3水曜
 年末年始(12/29~1/3)

- JR京浜東北線・鶴見線「鶴見」駅 東口から徒歩2分
- 京急本線「京急鶴見」駅 西口から徒歩2分



◀◀ 一方通行